

# 石川県能登島ガラス美術館だより

Notojima Glass Art Museum : NEWSLETTER

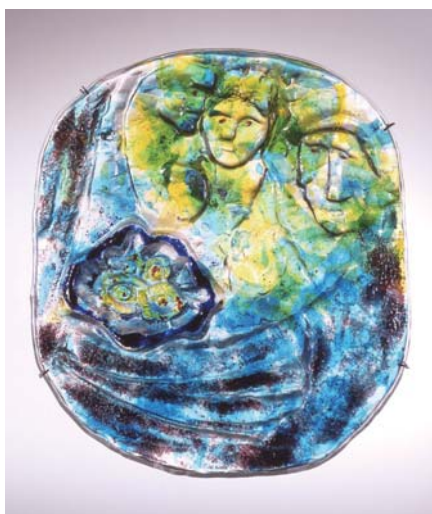
発行/平成27年2月28日

第21号

目次	1	能登島ガラスコレクション展より作品紹介
	2	これまでのイベント(平成26年度事業報告) 展覧会
	3	これまでのイベント(平成26年度事業報告) 展覧会、教育普及 トピック①坂崎幸之助氏ギャラリートーク レポート
	4	これまでのイベント(平成26年度事業報告) ガラ美の足あと 新館長の就任あいさつ / 学芸員のおすすめ図書 / トピック②巷で噂のガラ美通信
	5	これからのイベント(平成27年度事業予定) 展覧会、イベント
	6	トピック③募集していますガラ美の応援団! / 利用サービス / ミュージアムグッズ / インフォメーション

## 現代巨匠とヴェネチアの技 ——イタリヤのガラス彫刻——

能登島ガラスコレクション



「小さな婚約者たち」1954年  
エジディオ・コスタンチーニ  
(マルク・シャガールのデザインにもとづいて)

古くからガラス工芸が盛んなイタリアのヴェネチアでは、20世紀に入ると、伝統的なガラス器を制作する一方で、建築家や芸術家達をデザイナーとして迎え、現代的なデザインのガラス作品が作られるようになりました。イタリア人のガラス彫刻家エジディオ・コスタンチーニもまた、ピカソやシャガールなどの芸術家達の作品やデザインをもとに、伝統的な技をいかしたガラス彫刻作品を制作しました。



「おどけたフクロウ」1962年 エジディオ・コスタンチーニ  
(パブロ・ピカソのデザインにもとづいて)

「おどけたフクロウ」は、フクロウの形をした容器で、長く伸びた首に藍色ガラスを使ってフクロウの顔、胴部の正面には大きくおどけた顔のような模様が描かれており、把手は翼を表現しています。ピカソは、1946年に陶器の作品を作りはじめ、この器形を好んで制作しました。

「小さな婚約者たち」は、恋人たちを描いたレリーフで、女性は大きな花束を手にしています。透明なガラスをもとに、表側に主要な図柄を色ガラスで溶着し、裏面には別の薄い色ガラス片を幾層にも貼り付けています。平面的な作品ですが、色ガラスを重ねることで複雑な色調と奥行きを感じさせる作品となっています。

会期  
2014年  
11月1日(土)  
2015年  
4月19日(日)

## これまでのイベント(平成26年度の事業報告)



企画展

### 香りとファッションの美学展

～香水瓶が魅せる美の世界～

会期/2014年4月19日(土)～6月29日(日) 会期日数/70日 入館者数/9,402人  
協力/香りの専門誌「パルファム」、ポーラ文化研究所、大理石村・ロックハート城、  
イデア教育文化研究所、EMIネットワーク

ファッションブランドのコンセプトや美意識を反映した香水に合わせてデザインされた香水瓶をファッション版画と共に、約240点を展示しました。

ヨーロッパ貴族の香りを再現した香り体験コーナーを設置したり、初日には展示監修者の香りの専門誌「パルファム」編集長 平田幸子さん、ポーラ文化研究所主任学芸員 津田紀代さんによるギャラリートークを開催し、香りと器にまつわる話をお聞きました。

#### ◆会期中の関連イベント

わくわくワークショップ「自由に描こう!香りのイメージ画」

実施日時/2014年5月4日(日)、11日(日) 10:00～11:30、13:30～15:30 参加数/51人  
講師/イラストレーター 邦友伸子さん 協力/株式会社ポーラ

5種類の香りの中から好きな香りを選び、パステルクレヨンや色紙を使って香りからイメージした色や形を描きました。濃淡をつけて柔らかい雰囲気を表現したり、色を重ねて重厚感のある絵を描いたり、皆さん思い思いのイメージ画を完成させました。

のとじまガラス・スタイル「オリジナルアロマ香水と香水瓶づくり」

実施日時/2014年6月22日(日) 10:00～12:00、14:00～16:00 参加数/14人

アクリル絵具を使って自由に絵を描いたオリジナル香水瓶に、自分の好きな香りを調香したアロマ香水を入れるワークショップ。アロマサロン「セレスティース」を主宰されている塚崎早苗さんを講師に迎え、香りやアロマに関する会話を楽しみました。



特別展

### ガラスの科学展

～美しき造形の秘密～

会期/2014年7月5日(土)～8月31日(日) 開館日数/57日 入館者数/11,451人  
協力/金沢卯辰山工芸工房、(公財)石川県デザインセンター、黄金崎クリスタルパーク・ガラスミュージアム

高温で熱すると粘り気ある状態に溶け、冷えて固まると光を透過・反射させる魅惑の素材“ガラス”。ガラス特有の効果、現象を取り入れた現代作品、35点を展示しました。

見た目の美しさや機能性など、ガラスは素材として大きな可能性を秘めています。現代作家たちは、ガラスに対する豊富な知識を持ち、素材の扱いに慣れることで、表現のスタイルを広げています。多様化する現代ガラスの見どころを科学的なアプローチでご紹介しました。

#### ◆会期中の関連イベント

スペシャルイベント「ガラス作家 本郷仁さんとアートな万華鏡を作ろう」

会期/8月10日(日) 13:30～16:00 参加者数/親子9組19人

ガラス作家の本郷仁さんを講師にお迎えして、見てよし、飾ってよしのアートな万華鏡を作りました。当日は台風が近づく悪天候のため、予定していた屋外での撮影&上映会ができず、とても残念でしたが個性的な万華鏡が完成しました。

スペシャルイベント「ガラスで不思議体験!バーナーワークデモンストレーション」

日時/8月14日(木)～17日(日) 10:00～16:00

デモンストレーター/ガラス作家 齊藤秀輝さん、高田範子さん、宮村和美さん

バーナーの炎でガラスが溶ける様子、加工によって模様や形ができる様子を、解説を交えながら実演しました。ホウ珪酸ガラス、ソーダガラスなどガラスの種類で溶ける温度や使う道具が違うこと、熱せられるとガラスの色が変化することなど、ガラスの不思議をご紹介しました。







企画展

# THE ALFEE 坂崎幸之助 ガラスコレクション展

会期 / 2014年9月6日(土)～10月26日(日) 開館日数 / 49日 入館者数 / 7,508人

ガラスコレクターとして知られるTHE ALFEEの坂崎幸之助さんが、20年以上に渡り収集したガラス器の中から、本展のために坂崎さんが自ら選定した約250点を展示しました。

明治から昭和にかけて、国内で製造、流通した日常のガラス器は、独特の色彩とデザインをもつ素朴なガラスです。会場では、坂崎さんの言葉による解説キャプションや坂崎さんが撮影した写真パネルもあり、コレクター坂崎さんの視点を通してガラス雑器の楽しみ方をご紹介します。

## H26の主な教育普及事業

### 能登島“ガラスの丘”プロジェクト

本プロジェクトは、当館スタッフが各分野の専門家や地域住民の方々と協働し、能登半島と日本海を臨む当館のアート空間を活用し、ここでしか味わえない文化・芸術体験の場を生み出すことを目的としています。平成26年度も様々なイベントを開催しました。



### 地域との連携

#### 「島のクラフトカフェ in ガラ美」

日時 / 2014年10月18日(土)、19日(日) 10:00～16:00

協力 / (有)能登島ガラス工房、案山子窯、陶房久平窯、陶房独歩炎、  
のとじま手まつり実行委員会

カフェ利用 / 114人

能登島内には、能登島ガラス工房のほか陶芸の工房が3カ所あります。この4つの工房の協力を得て、クラフトカフェとミニギャラリーを限定オープンしました。カフェコーナーでは、各工房で作られた器で和紅茶、柚ジュース、塩アイスなど地元の味覚をご提供しました。当日は島内で、クラフトマーケットのイベントも開催されており、天候にも恵まれ多くの方がガラ美でのんびり過ごされました。



## トピック①

### 坂崎幸之助氏 ギャラリートークレポート

開催日時 / 2014年9月13日(土) 14:00～15:00

当日は島民もびっくりの早朝からガラ美庭園入口に大行列が！（開館史上初の出来事）混乱を避けるためイベントの宣伝は控えめにしていたのですが、多くのTHE ALFEEファンが駆けつけ、その熱い思いに圧倒されました。席数70席程度と手狭な会場でしたが、立ち見も含め300人以上はいらっしゃいました。

バンド結成40周年のお忙しい中、イベントを引き受けてくださった坂崎さん。能登方面へ足を運んだのは今回で2回目で、1回目はカツ井で各地を回る企画で訪れたそうです。その懐かしい話にはじまり、ガラス収集を始めた経緯、古物商の免許まで取ったこと、日本近代のガラス製品の魅力、ガラスを求めて古い家屋を探検したという話まで、坂崎さんの絶妙なトークでアツという間のひとときでした。



坂崎さんをはじめ、参加者皆様のご協力で、とても和んだ空間での楽しいイベントとなりました。終了後、ガラスの魅力を知り、自分も集めてみたいという感想が参加者から多数寄せられました。

### 大学との連携

#### 「ガラ美のわくわくシート vol. 1 制作事業」

日時 / 2014年4月～2015年3月

協力 / 金沢美術工芸大学芸術学専攻(工芸史ゼミ)

当館では、来館するファミリー層や学校団体向けに、小学生以下の子供を主な配布対象とした、作品鑑賞のためのセルフガイドの制作に取り組んでいます。今回は、金沢美術工芸大学3年生の阿部菜都紀さん、平川友生さん、牧山好海さんの3名がシート案の作成に参加しました。第1弾は今年3月下旬頃から配布を開始します。当館の代表的な収蔵品をご紹介しますので、ぜひご利用ください。



## 平成26年度 ガラ美の足あと

4月16日(水)～19日(金)

庭園内の除草作業

5月25日(日)

リクエストワーク 参加数/37人

6月2日(月)～9日(月)

庭園内の除草作業

6月15日(日)、21日(日)

リクエストワーク

参加数/36人

学校のPTCA行事、親子で体験しました。

6月17日(火)

館内のワックスがけ

6月21日(日)

リクエストワーク 参加数/36人

7月6日(日)

リクエストワーク 参加数/39人

7月8日(火)～10日(木)

職場体験

能登香島中学校2年生2人受付、事務所、庭園でガラ美の仕事を体験!

7月13日(日)、20日(日)

わくわくワーク

「イロんなガラスで! ガラスブローチ作り」

参加数/112人



7月15日(火)～28日(月)

庭園内の除草作業

7月29日(火)

七尾市民無料デー 利用者数/25人

ガラ美キッズ「1日こども館長」

参加数/3人

わくわくワーク

「とくして巻いて!」

ガラス玉作りプチ体験」

参加数/16人

ガラス工房さんの協力でお得な体験が実現!

9月2日(火)～26日(金)

庭園内の除草作業

9月5日(金)

防火・避難訓練

9月16日(火)

館内のワックスがけ

9月28日(日)

ガラ美キッズ

「1日こども学芸員」

参加数/5人

作品の展示場所を考えてみました。

10月8日(水)

庭園内の除草作業



10月28日(火)

館内のワックスがけ

11月16日(日)

出張ワーク

「市民文化祭in能登島」

参加数/20人

シーグラスを麻紐で編み

ストラップを作りました。

11月22日(土)～30日(日)

庭園内の剪定作業

12月6日(土)～3月1日(日)の毎週土・日

わくわくワーク

「冬の定期ワーク

ほっこりガラス」

参加数/123人

(1月末現在)

年齢問わず参加できる

人気のガラス工芸体験!

1月2日(金)

わくわくワーク

「ガラ美でお正月! 透明おもちゃで初遊び」

参加数/25人

2月4日(水)

リクエストワーク

参加数/18人



## 新館長の就任あいさつ

石川県立美術館退職後、4年ほど企画運営アドバイザーとして関わり、平成26年4月から館長に就任しました。そして当館も石川県七尾美術館と同じ、新たな公益財団法人として出発しました。今年度は2月に能越道の七尾までの開通、3月の北陸新幹線の金沢開業など観光面、経済面、文化面で大きな変動が期待される年となります。当館もその対応に遅れることなく展覧会企画、教育普及活動を行う準備を進めています。そして、何よりも大切なのは、来館者の目線に立った美術館でありたいと考えています。



末吉守人 館長

### 学芸員のおすすめ図書

#### 「ポストモダン建築巡礼

Japanese Post Modern Architecture」

著者/磯達雄 イラスト/宮沢洋 編集/日経アーキテクチュア

発行所/日経BP社 発行年/2011年7月25日

1970年代から90年代にかけて流行し、日本各地に建造されたポストモダン建築が紹介されています。巻末には、建築家隈研吾氏と著者の対談も収録されて、ポストモダン建築の魅力を知ることができます。当館も掲載されています。



## トピック②

ちまた うわさ

## 巷で噂のガラ美通信

何かといろんな方々から質問される『ガラ美通信』。当館で発行している、この一色刷りの印刷物について、少しご紹介いたします。

他館同様、展覧会広報用のポスター、チラシも作成、配布していますが、地域の方々には美術館の旬な情報を親しみやすい形で伝えるため、季刊手書き瓦版として発行しています。次号で第34号となります。

見る方の興味を引き、かつ楽しんでもらう内容とするため、地域の方言を交えてみたり、4コマ漫画コーナーがあったり、オリジナルのキャラクターを登場させたりと、ガラ美スタッフのこだわりが随所にちりばめられています。もちろん全てスタッフの手書きです!主な書き手として、これまでに複数のスタッフが関わってきましましたので、過去のガラ美通信を比べてみると作風は変化しています。



ガラ美通信は、市内を中心に配布しています。まだご覧になられていない方がいらっしやいましたら、当館HPでもぜひチェックしてみてください。



## これからのイベント（平成27年度の事業予定）

企画展

### アール・ヌーヴォーのガラス ～ガレ、ドームが愛した自然～

会期／2015年4月25日（土）～7月5日（日）

アール・ヌーヴォーとは、19世紀末にヨーロッパを中心に起こった装飾美術の革新的な運動のことです。自然の植物にみられる躍動的な曲線美を多用した新しい表現が生まれました。この背景には自然の動植物の本質を見極め、デザインや造形にいかそうとする日本美術の影響を見ることができます。



「ひとよ葎文花瓶」

1898～1900年頃 エミール・ガレ 個人蔵

世界農業遺産に登録された能登の美しい自然に囲まれた美術館で、エミール・ガレやドーム兄弟が制作した作品を中心に、約70点をご紹介します。

企画展

### Let's enjoy! 現代ガラス ～不思議な世界へ出かけよう～

会期／2015年7月11日（土）～9月27日（日）

ガラス素材そのものの魅力に触れながら、現代ガラスアートの世界をご案内する展覧会。「とける」、「割れる」、「光る」、「映る」等のガラスがもつ特徴をキーワードに、世界的に活躍する現代作家たちの作品をご紹介します。この機会に、現代ガラスアートが誘う不思議な世界へ足を踏み入れてみましょう！

そのほか、ガラス工芸を体験できるイベントも多数開催します。詳細は、展覧会チラシや美術館HPにてお知らせします。



「光廊」2011年 本郷仁

春  
夏  
冬  
秋



仏語で“ガラスの練り粉”を意味する「パート・ド・ヴェール」とは、細かく砕いたガラスを電気炉で加熱し、溶かし、固めるガラス技法の名称です。古代から現代まで衰退と復興を繰り返したため、「幻の技法」、「秘伝の技法」とも言われました。

本展では、スペインを代表する芸術家サルヴァドル・ダリがデザインした作品や現代作家の作品などを展示し、パート・ド・ヴェール技法による神秘的なガラス造形の魅力をご紹介します。

当館のコレクションは、ピカソやシャガールなど芸術家達のデザインをもとにイタリア・ヴェネチアで制作された「現代ガラス彫刻」、18世紀以降に制作された玉のような独特な光沢をもつ「中国清朝のガラス工芸品」、作家独自の発想で制作された「現代作家の作品」の3つに分けることができます。

本展では、展示室ごとに1つのテーマに沿った作品を展示し、それぞれの作品の特徴や魅力をご紹介します。



「青地黄被花鳥文花瓶」18世紀

特別展

### ～ダリも魅せられた神秘の技法～ パート・ド・ヴェール展

会期／2015年12月19日（土）～2016年4月3日（日）

当館のオープン記念日（7月29日）にちなんで、7月の最終金土日にお得なガラス玉作り体験など、様々なイベントを開催します。また、イベント当日、ガラ美の誕生日を一緒にお祝いしてくれるこども館長を募集します。

### 島のクラフトカフェ in ガラ美 第2弾

のとじままつり開催日（10月中旬）、当館にて市内で創作活動をおこなう作家の方々が制作した器を使用し、飲み物の提供や生け花の展示をおこないます。ガラ美スタッフがおすすめする地元の味覚を能登の景色を眺めながら作家たちの器でお楽しみください。



### わくわくワークショップ

ガラス素材を使った簡単な工芸体験。年齢問わず参加できます。

リクエストワークは、3つのコースから選べます。希望日の1ヶ月前までに要申込み（定員：10～40人）。冬季限定ワーク（12～2月）は、ガラス彫刻体験。旅行の記念やプレゼントにもなります。

※各種イベントの詳細は美術館までお問合せください。

## トピック③

### 募集していますガラ美の応援団！

当館の心強い応援団を紹介します。まずは美術館ボランティアの方々（現在の登録者3名）、そしてガラ美メンバーズカードをお持ちの方々（現在の発行数130枚）です。

ガラスがお好きな方、美術館活動にご興味がある方、ご参加お待ちしております。

### 美術館ボランティア

当館のボランティアは登録制となっており、毎年1～2月に募集し、3月に説明会を開催しています。活動内容は、館内の順路案内とイベントのお手伝いです。1回の活動時間は3時間程度。お礼として当館の招待券2枚を進呈しています。対象は高校生以上の方です。

### ガラ美メンバーズ

メンバーズカードを発行し、ご来館ごとにスタンプ1個を押します。2つ貯まったらポストカード、4つ貯まったら当館のオリジナルグッズを差し上げます。対象は高校生以上の方です。



#### ◆お知らせ

平成26年4月より、石川県能登島ガラス美術館の運営・管理をおこなう指定管理者が、公益財団法人七尾美術財団となりました。

## 【ガラ美のおすすめ利用サービス】

### 館内案内サービス

事前に電話でお申し込みいただければ、当館スタッフが施設概要や作品解説などご要望に応じて館内をご案内いたします。所要時間は、施設概要のみは10分程度、作品解説もご希望の場合は40分程度です。なお、当館は展示室や連絡通路が狭いため、案内サービスの受け入れは一度につきバス2台までとなります。

### 子ども向けセルフガイド

当館の収蔵品について学べる小学生向けのワークシートを2種類作成しました。ご家族やお友達と一緒にご利用するとより楽しく作品鑑賞ができます。ぜひご利用ください。



## 【ミュージアムグッズ】

当館収蔵品の絵葉書、一筆箋、図録など、オリジナルグッズを受付にて販売しています。



絵葉書 各100円



一筆箋 各350円

## 美術館インフォメーション

#### ◆入館料

個人（高校生以上） 800円  
団体（20名以上） 700円  
中学生以下 無料

\*障害者手帳のご提示で入館料が减免になります。  
各種割引、减免金額については、直接お問合せください。

#### ◆休館日

毎月第3火曜日（祝日の場合は翌日休）  
年末年始（12月29日～1月1日）

#### 展示替え期間中

\*展示替え期間については、当館HPや年間スケジュール表をご覧ください。

#### ◆開館時間

4月～12月：午前9時～午後5時  
1月～3月：午前9時～午後4時30分  
\*ご入館は、閉館時間の30分前までです。

#### ◆交通案内

##### 自動車／

金沢方面から…のと里山海道・徳田大津JCTを經由、能越道・和倉ICから約25分  
富山方面から…能越自動車道・氷見ICを經由、七尾ICから約35分

##### 電車・バス／

金沢方面から…金沢駅から和倉温泉駅まで特急列車で約1時間。  
富山方面から…高岡駅から和倉温泉行きバス「わくライナー」で約1時間45分。  
和倉温泉駅より能登島交通「のとじま臨海公園」行きバスで約30分。「美術館前」下車すぐ。  
\*能登島交通バスご利用の方へ 乗車、降車でバス停「美術館前」の場所が違いますのでご注意ください。

##### 飛行機／

のと里山空港から「ふるさとタクシー」でガラ美美術館前まで約1時間。  
\*ご利用前日15時までにご予約ください。中島タクシー TEL0767-66-0114

#### ◆ガラ美 公式HP

美術館の最新情報、近隣情報もご紹介！  
<http://www.nanao-af.jp/glass/>

#### ◆ガラ美 スタッフブログ

美術館の出来事を能登島弁でご紹介！  
<http://notojima-garabi.cocolog-nifty.com/blog/>